

令和元年度 瑞穂区ACP研修会（概論編） アンケート結果

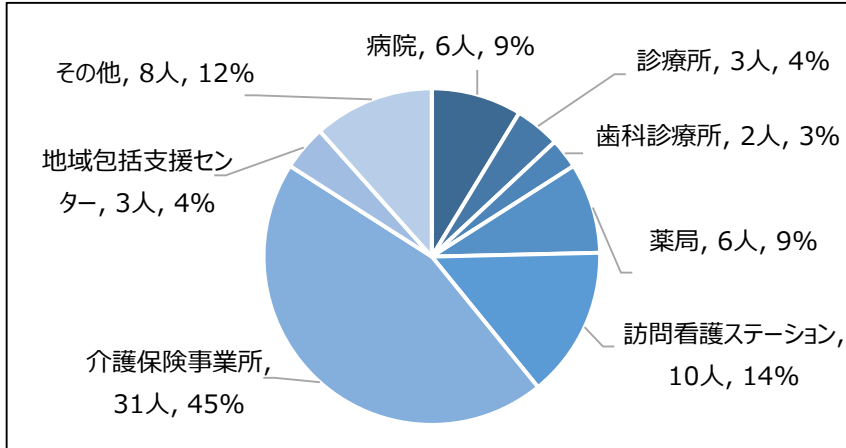
日時： 令和元年 6月27日（木） 13：30～15：30

場所： 瑞穂区役所 講堂

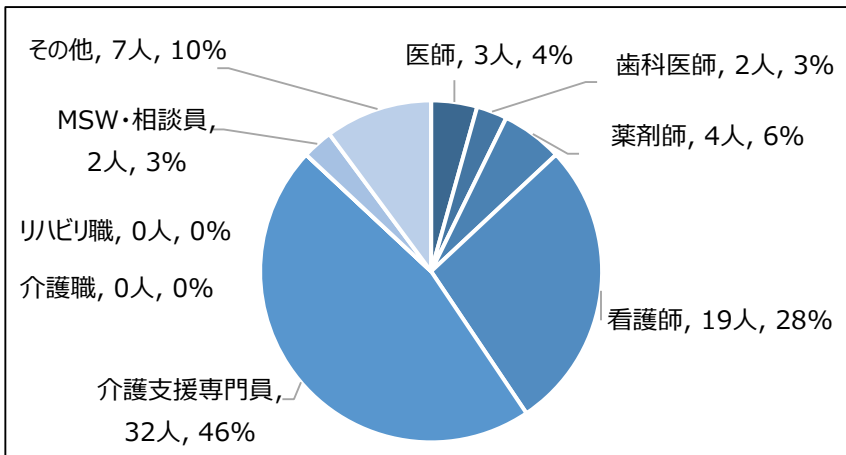
アンケート回収率： 76%（アンケート記入者69名/参加者91名）

1. 参加者ご自身について

①所属を教えてください

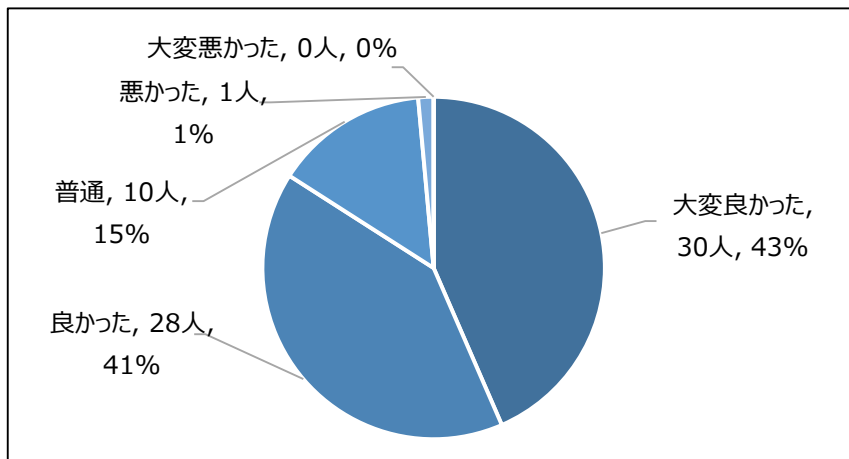


①職種を教えてください

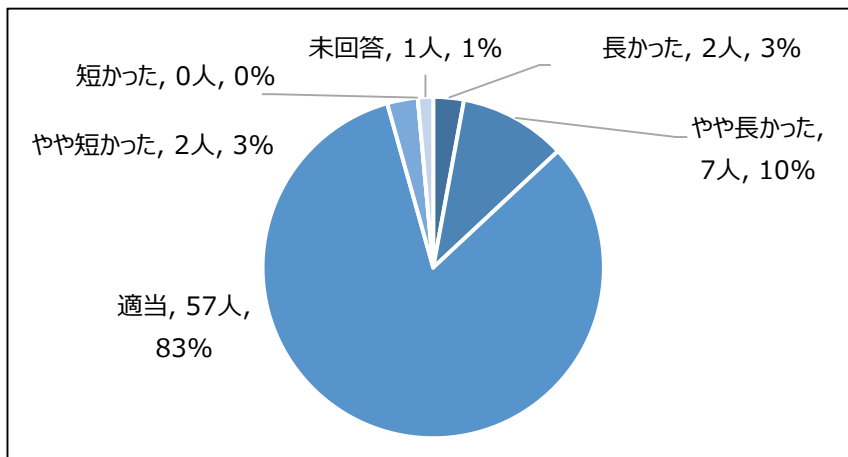


2. 講義（ACP概論）について

①内容はいかがでしたか？

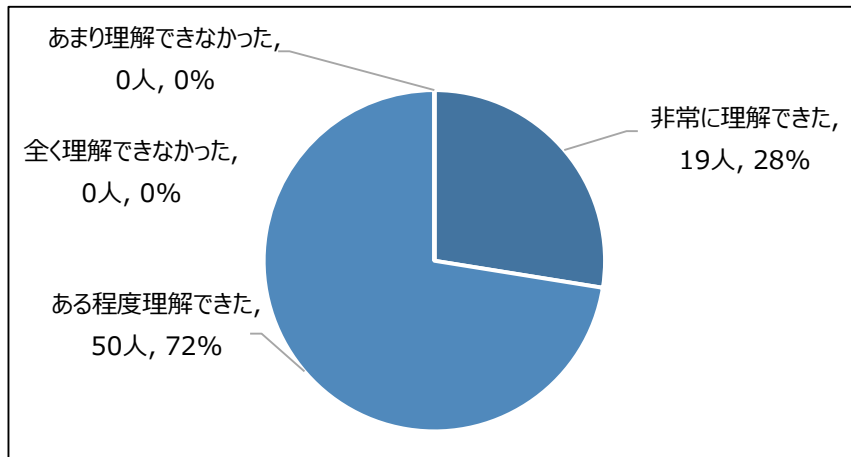


②時間はいかがでしたか？

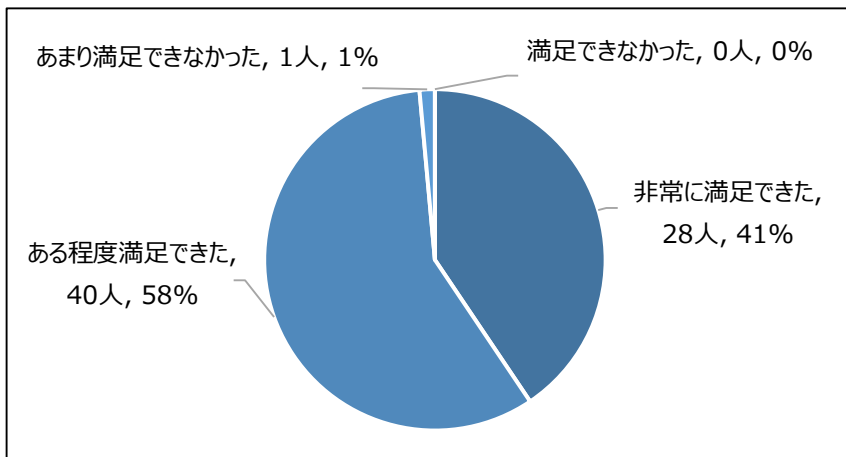


3. グループワークについて

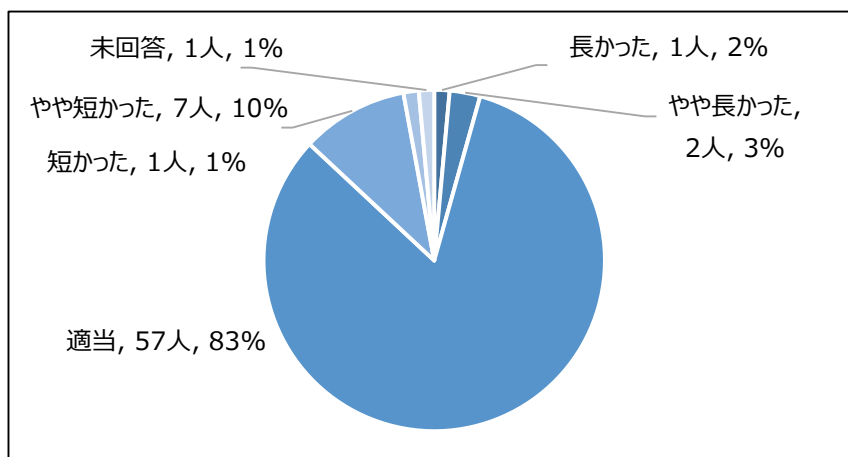
① ねらい（今まで行ってきた実践がACPに含まれていること）は理解できましたか



② ディスカッションは満足できましたか

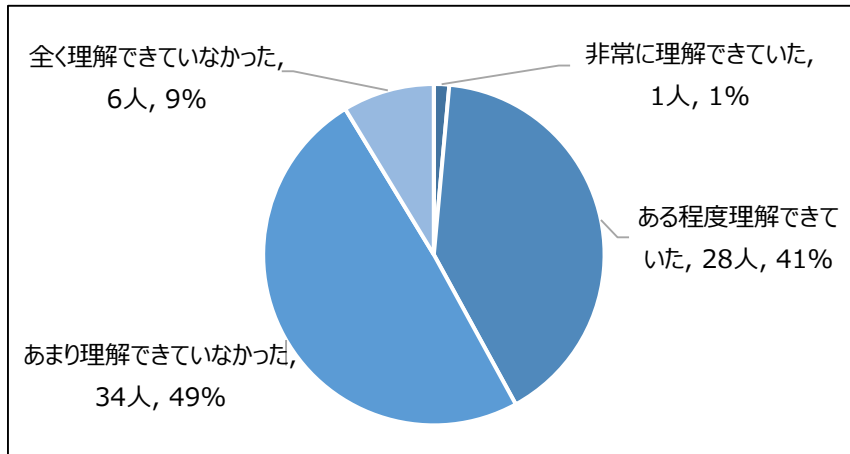


③ 時間（ディスカッション・発表）は適当でしたか

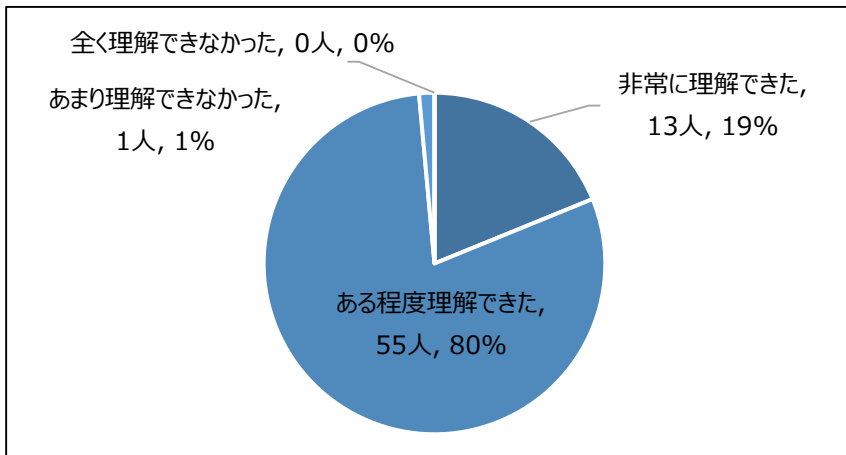


4. 本ACP研修会について

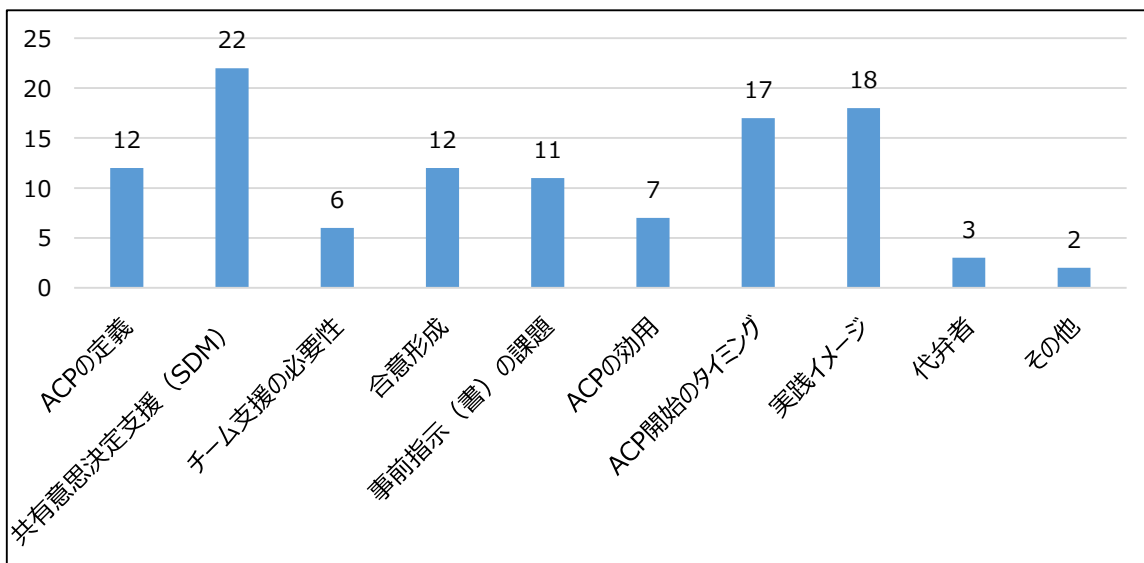
① 本研修会参加前のACPの理解についてお答えください



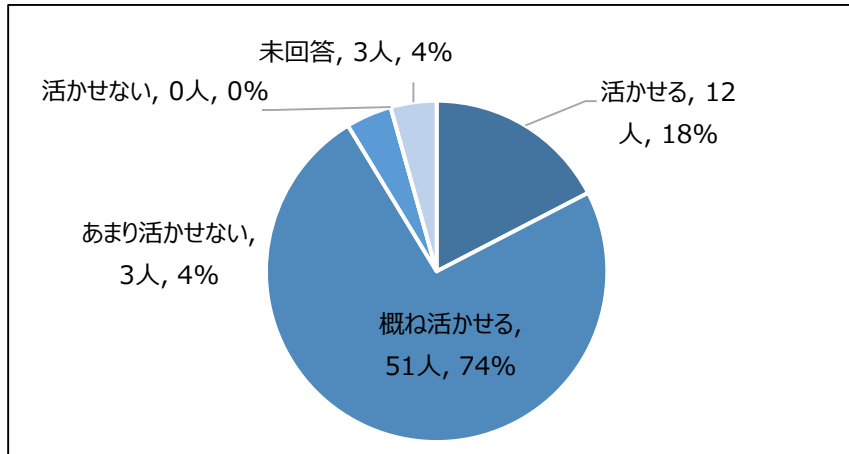
② 本研修会参加後のACPの理解についてお答えください



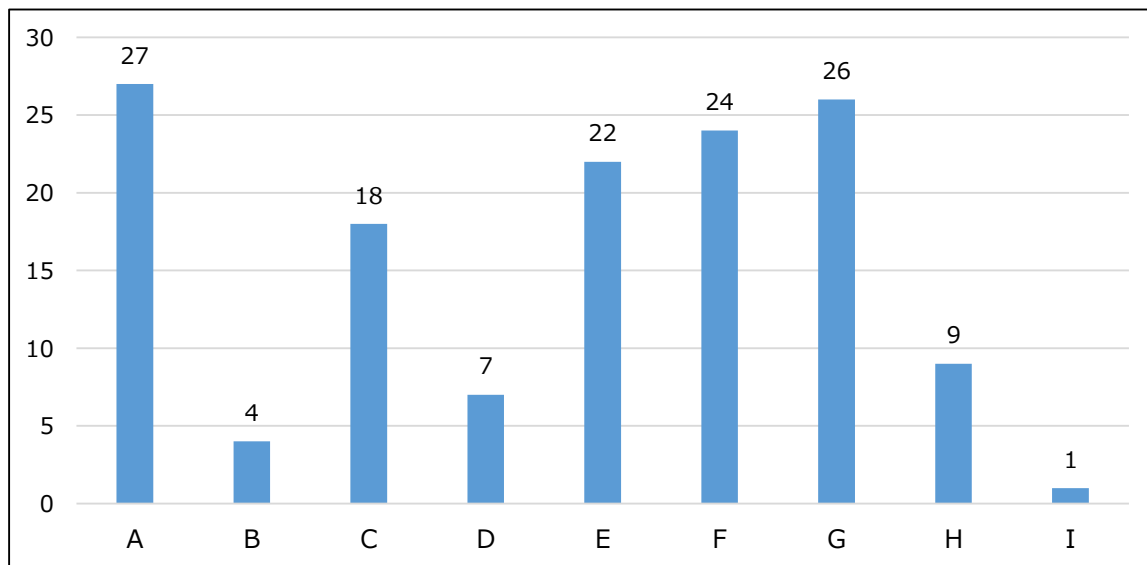
③ 本研修会で理解が難しかった点について、具体的にご記入下さい。(複数選択可)



④ 本研修会の内容は、今後の実践に活かされますか



⑤ 実践する上で困難と感じる点について、具体的にご記入下さい。(複数選択可)



- A: チーム内（多職種）の意欲・理解深度の差
- B: 職場内（上司等）での理解が得にくい
- C: 日常業務の多忙
- D: 患者・家族・市民の無関心
- E: 始めるタイミング、きっかけ
- F: 言葉かけの手法、技術
- G: 言語化・表出されるものが真意であるかの汲み取り
- H: 信頼関係の構築
- I: その他

5. 本日の研修、また今後の研修へのご意見やご要望等をお聞かせください

・タイミングをみて話すきっかけを作るよう働きかける。本人のベクトルのみではなく、ご家族とのベクトルの方向が異なった場合の対処方法を学ぶことが大切となる。今後の支援に活かしていきたいと思います。とても参考になりました。ありがとうございました。

・グループディスカッションはファシリテーターの方の進行も適切でとてもわかりやすかったです。それぞれの職種で感じるが違うが想う方向は一緒だったので、大きなベクトルの方向は一緒と感じました。講義はもう少しゆっくり話して下さると理解が深められたと思います。

・家田先生からの話がよかったです。本人の気持ちが揺れ動くタイミングを見逃さないことの大切さ。信頼が大切。本心を聞けることが大切。ベクトルをもって接すること。いろいろな職種や関係者から聞き取ることの大切さがわかった。

・ACPについて大変勉強になりました。ディスカッションについて事例において患者さんの思いをどの程度聞きだせるか、誰が伝えるか、タイミングなど、それを多職種間で共通で意見交換ができる場所やツールについて考える必要あり。今後の課題となると思っている。

・普段やっていることとACPの違い、ACPをはじめるタイミング、どのように本人の思いを汲み取るかなど事例やグループディスカッションを通してより具体的に理解することができました。

・いろいろな意見が聞けて良かったです。

・講義が少し淡白な印象でした。グループディスカッションで多職種の方と話せるのは良い。

・講義内容がわかりづかった。内容的に時間が足りないのでしょうか・・・。

・ACPについて理解が深まりました。さあはじめるぞといっははじめるのではなく、もうすでにできていることであったり、ささいな会話からの気づき、それを多職種間で共有していくことが今後大事なのではないかと思いました。普段自分の仕事で何かちょっとしたアクションを入れて、そこから生じた情報をキャッチし共有する、そんなことを頭に入れて仕事をしていきたいです。

・名前しか聞いたことのなかったACPについて内容を知ることができた。

・いつもは聞けない医師などの意見も聞くことができとても良かったです。

・多職種の方の意見を聞くことができた。家田先生の話で『タイミングズマネー』を一つ覚えました。サービス提供責任者・ヘルパーさんの参加も必要と感じました。

・グループワークを多職種で行うことで、日々どういう思いで利用者に関わったり、情報を共有したりするのかを知ることができた。またそういう日々の中で疑問に思っていることや不安に思っていること、どうしたらいいのかわからなかったことを知る機会になった。違う職種で話し合うことで同じ問題点を見つけることができたため参加することでとても良い学びになりました。

・もう少し噛み砕いてお話してもらえるとありがたいなあと思いました。事例があるととてもわかりやすかったです。ただACP以前に医療従事者の質を全体的にあげていくことも大切であると感じた。利用する人・患者や家族が良い医師や良い看護師良いケアマネなどに出会えていなかったら、良い在宅などを行うことができないので、もっともっと心を持って仕事をする人が増えていくことが大切であると感じた。

・勉強になりました。ありがとうございました。

・家田先生のベクトルの話で一気に身近なものに感じられ話し合いに熱がこもりました。

・何となく会話の中で意向を聞いていたが、もっとしっかり計画を立てて行うことの大切さを学ぶことができました。情報の共有について大切さを再確認できました。

・とても貴重な時間を皆さんの立場で話が聞けてよかったです。チームワークを強くする、顔の見える関係が作れる機会を作っていただけると嬉しいです。

・日々患者さんと関わる中でやっている関わりがACPIにつながっていて、次はACPを意識した関わりをしていきたい。

・大変勉強になりました。まだまだわからないことばかりなので、色々形式を変えて継続してもらえると嬉しいです。

・意向を本人・家族から聞くことはできるが共有は難しい。家族・本人の意見が合わない場合、家族同士の意見が合わない場合など難点が多い。本人の意向を家族が尊重されない場合はどうまとめていくのか。医師との連携は訪問看護師の協力が有効と感じた。

・今までもACPを実践しているとのこととちょっとビックリでした。今後ますます在宅での看取りが増えると思われるので勉強していきたいです。

・多職種の方々とのグループディスカッションを通して、今までとは違った視点でACPIに対する理解を深めることができました。

・訪問時に聞き取れた情報はチーム内に伝えることがご本人のためになることが理解できた。

・家田先生の話がとてもわかりやすかった。

・1980年代からACPが行われ考えられていたのにあまり知りませんでした。しかし、ACPは知らなくても日々ACPが行われていると、人生がスムーズに幸せになると思いました。組織化され、多くの人ACPIにより幸せになっていくことを願います。